

世界健康安全保障 イニシアティブ(GHSI) の活動について

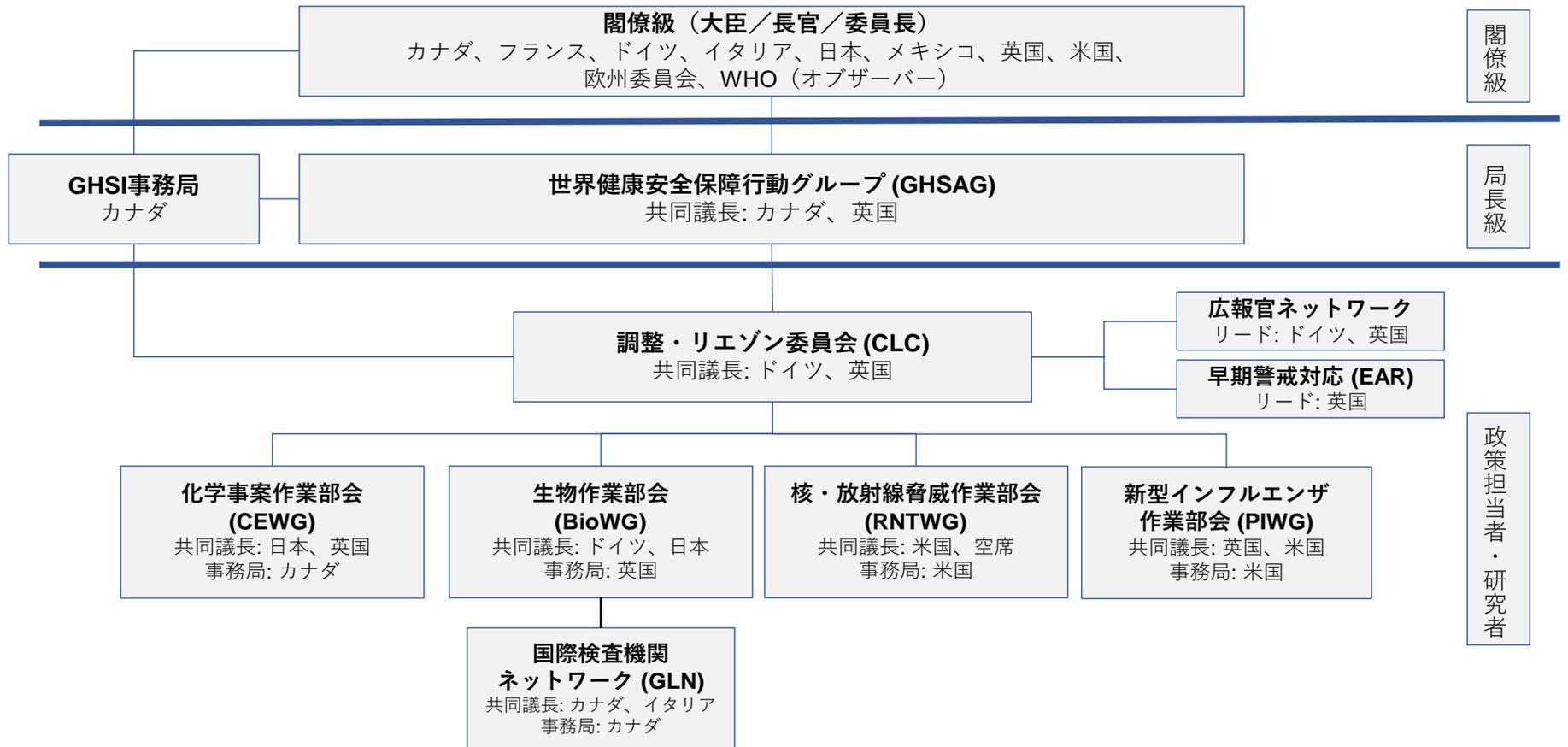
世界健康安全保障イニシアティブ(GHSI)について

1. 経緯

2001年（平成13年）9月11日の米国における同時多発テロをうけ、米国・カナダ政府の呼びかけにより、世界的な健康危機管理の向上及びテロリズムに対する準備と対応に係る各国の連携等について話し合うことを目的に各国保健担当大臣会合として発足。

2. 構成

G7（カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、日本、英国、米国）、メキシコ、欧州委員会（EC）がメンバーであり、WHOはオブザーバーとして参加。



令和4年度のGHSIでの主な活動

• GHSI 次官級（例年は閣僚級）会合

令和4年10月、G7議長国であったドイツで、G7保健大臣会合の枠内において、GHSI次官級会合が開催された。有事の際、専門家派遣体制整備の重要性や、平時からの備えとしてのMCM（Medical Countermeasures：感染症の流行等の公衆衛生危機に対し、医療的な対抗手段となる重要性の高い医薬品や医療機器等）の重要性に関する議論等が行われた。

• GHSI リエゾン調整会合

令和4年6月、カナダでリエゾン調整会合が開催された。

ウクライナ危機の状況やエムボックスの感染状況の議論や、各作業部会の活動報告等がなされた。

• GHSAG（局長級）会合

令和5年3月、イギリスで局長級が開催された。

各作業部会の活動報告書の承認、2023年のGHSI活動の優先事項の承認がなされた。

2023年会合の開催案について検討（日本開催予定）

• 他の作業部会、等

- 中国での措置緩和に伴う新型コロナウイルス感染症患者急増の状況や変異株情報の報告、各国で行われている措置等の情報を共有した。
- エムボックスの感染状況および治療薬やワクチンの国際的な需要と供給状況等の情報交換がされた。
- GHSI事務局文書の更新作業等が行われた。